

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 29 年 12 月 11 日

審査機関名 一般財団法人 日本品質保証機構

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	北谷浄水場における二酸化炭素排出削減事業計画 ポンプ設備の更新
承認番号	JCDM-PJKC1199
排出削減事業者名	沖縄県企業局
排出削減共同実施事業者名	E Sカーボンクレジット合同会社
事業実施場所	北谷浄水管理事務所 (沖縄県中頭郡北谷町字宮城 1 番地 27 号)
事業の概要	北谷浄水場の送水ポンプの高効率化を図ることで省エネを行い、CO ₂ 排出を削減することを目的とする。ポンプ揚程の低減と高効率電動機の組合せによる固定速運転と台数制御により、エネルギー消費量を削減する。
排出削減量の計画	2012 年度： 815t CO ₂ /年 2013 年度： 844t CO ₂ /年 2014 年度： 826tCO ₂ /年 2015～2019 年度： 787t CO ₂ /年 (事業実施期間合計 6,420tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2012 年 4 月 1 日 終了予定日 2020 年 3 月 31 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020 年 3 月 31 日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 025 ポンプ・ファン類の更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年3月31日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	7,767tCO ₂ （2013年4月1日～2016年3月31日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 今回は初回の実績確認ではないことから該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 電気設備点検記録、事業者へのヒアリング等により、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 電気設備点検記録の電力量の読み値、運転年報の送水量の記録、排出削減事業関係者へのヒアリング等により、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 電気設備点検記録の電力量の読み値、運転年報の送水量、排出削減事業関係者へのヒアリング等により、活動量となるポンプの電力使用量、送水量、計算シートの記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 事業者へのヒアリング並びにJ-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.2.8により、排出削減量の算定式及び使用されている電力の排出係数等は方

	<p>法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果と電気設備点検記録の電力量の値、運転年報の送水量の値との突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	<p>今回の実績確認対象期間は 2013 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020 年 3 月 31 日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量は、原油換算 3,543.6kL、熱量換算 137,347.4GJ であることを確認した。

以 上